

# 一般質問通告一覧表

令和4年第3回（11月）組合議会定例会

番号	議席番号	氏名	質問事項	質問の要旨	答弁者
1	1	小松穂波	1. コロナ禍において注目された救急隊のコンビニ立ち寄りについて	(1) 秩父消防本部での現状 (2) 救急隊並びに消防隊への住民理解の周知	担当者
			2. 事業系一般廃棄物の収集について	(1) 収集方法および内訳 (2) 一般廃棄物収集・運搬許可業者の選定基準 (3) 特別収集時に使用する事業系専用指定袋の容量の再検討 (4) 産業廃棄物の混入チェック	担当者
			3. 水道事業について	(1) 滞納者に対する給水停止までの経緯と現状 (2) 冬季の水道管破裂の実状とその対策 (3) 漏水認定の基準と条件 (4) 専門職である技術職職員の現状と強化の必要性 (5) 2019年10月の台風19号により被害をうけた別所浄水場後方の土砂崩落現場の復旧状況 (6) 水の安全性について（住民からの質問） ・荒川の魚が一昔前に比べて激減している理由	担当者
2	3	清野和彦	1. 上水道事業について	(1) 大規模災害発生時の対応について (2) 未給水地区への対応について	管理者 担当者
			2. ごみ処理事業について	(1) ごみ収集事業について	管理者 担当者

			3.消防業務について	(1) 消防職員の技能資格について	管理者 担当者
3	2	高野佳男	1. 第75回全国植樹祭 関連の広報活動について	(1) 標記事業が令和7(2025)年春に埼玉県で開催されるに当たり、広域圏内の住民に最も身近で最も日常的に接する機会があるごみ袋を広報の媒体として活用し、圏内全域への当該事業の周知を図り、事業の成功に向けて環境整備を進めることについて、組合当局はどのように考えるか。可能な場合、どの程度の準備期間と経費が見込まれるのか。また、その際、ごみ袋の一部に広告スペースを設け、(例えば、オリンピックの公式スポンサーのように)地元企業等から広告を募り、収入として受け入れることは可能であるのか。	担当者
			2. 令和3年度水道事業 会計決算の概要について	(1) 『ちちぶ広域水道だより』No.26 秋号の p.2 において、「施設を新しくするために今まで貯金してきた」と述べられ、同じページ内で「豪邸であればあるほど多く貯金しなければならない」ことが強調されているが、この用語法によれば、水道事業関連の施設は将来、どの程度の「豪邸」を築くことが想定され、またそれに備えてどれくらいの「貯金」をして行く必要があると見込まれているのか。  (2) 上記広報紙の p.2 の「すいどうさん家の家計簿」において、家族や親類からの「収入」として、お父さんとお母さんの給料、及びおじさんとおじいちゃんからのお	担当者

				<p>祝いが計上されているが、令和2年度は4名からの収入の合計額が542万円、同3年度は498万円である中、お母さんの給料の額はいずれも6万円であり、全体の中で占める割合はそれぞれ1.1%と1.2%であるところ、今日の日本社会における女性の経済活動への貢献の実態に見合っているとは言いがたく、また、ジェンダーバランスの観点からも公的な機関が行なう広報の内容としては積極的には支持しがたいように思われるが、組合当局はどのように考えているのか。</p>	
--	--	--	--	--	--